

## 第5学年 外国語活動学習指導案

い組 男子18名 女子20名 計38名

指導者 J T E 高 味 淳

### 1 単 元 料理を楽しもう（英語ノート1「ランチ・メニューを作ろう」）

#### 2 単元について

##### (1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、第4学年「Tomの友達」や「買い物ゲームをしよう」の活動を通して、食べ物を表す英語や食事・料理に必要な表現に慣れ親しんだり、J T Eや友達と楽しく交流したりしたいという願いをもつようになってきている。また、これまでの学習で、分からない英語を推測して聞いたり話したりする能力や、目的や相手を考えて必要な英語を用いようとする能力を身に付けてきている。さらに、体験的なコミュニケーションを図る中で、外国の言語や文化に触れながら、外国のことをもっと知り、周りの人と相互理解を深める大切さに気付くようになってきている。

そこで、本単元では、食べ物を表す英語や食事・料理に必要な表現を使ったスキットやゲーム活動、オリジナル・ランチ・セットを作る活動を通して、J T Eや友達とより積極的に関わろうとする態度を高めることをねらっている。また、食べ物を表す英語や食事・料理に必要な表現に慣れ親しみ、J T Eや友達と協力してコミュニケーションを図る能力を身に付けさせたいと考える。さらに、食事をしたり料理をしたりする際に必要な表現や、日本と世界の食事に関する共通点や相違点に着目し、言語や文化に対する理解を高めていきたい。

この学習は、外国のレストランで食事をする場面を想定して、そこに必要な表現を使ってゲーム活動やスキットづくりをする「レストランへ出かけよう」へと発展するものである。

##### (2) 指導の基本的な立場

子どもたちにとって、食事は身近なものの一つであり、家族や友達とかかわりながら楽しめる団らんのある場でもある。また、周りの人と料理をする場面では、好みの材料を尋ねたり、どこの国の料理か話し合ったりするような表現が使われる。さらに、そこでは目的や相手に応じた表現のやりとりも行われる。そこで、**外国の家庭で料理をする場面を設定し、好みの材料を尋ねたり答えたりするような活動を設定することは、自分の気持ちを積極的に英語で伝えようとする意欲を喚起させることに適している。**また、食事や料理をする上で必要な表現を身に付けたり、外国の言語や文化に対する理解を深めたりすることにも適している。

このような食事や料理をする場面において、そこに必要な英語を表現する楽しさを十分味わえるようにするために、スキットやゲーム活動、オリジナル・ランチ・セットを作る活動を重視していきたい。また、J T Eや友達に積極的に関わったり、友達同士で教え合ったりして、英語でコミュニケーションを図りたいという願いが連続・発展していくように学習活動を展開していきたい。

具体的にはまず、**絵本『A Beautiful Butterfly』の読み聞かせ**をし、本の内容について話し合い、食事への興味・関心を高めさせる。また、「英語ノート」(p.57)のクイズを解き、世界と日本の朝食を比べ、外国の言語や文化に対する興味を高めさせる。さらに、食事に関する表現を使ったゲーム活動をしたり、**スキットを通して食事をする上でどのような表現が必要となるのかを考えさせたりしながら、学習に対する意欲を喚起させていく。**

次に、料理をする場面を想定して、互いの思いを伝えながら行うオリジナル・ランチ・セット作りを取り入れる。その際、**分からない表現を、ジェスチャーや絵を使ったり、母語を用いて推測したりしながら、J T Eや友達に積極的に尋ね、コミュニケーションを継続していくことに気付かせるために、コミュニケーションギャップを取り入れたスキットを見せる。**

さらに、作ったオリジナル・ランチ・セットを「ショー・アンド・テル」によって紹介する。その際、ただ紹介するだけでなく理由を述べたり、聞く側も質問をしたりして、互いにコミュニケー

ションを継続させるようにする。

このような学習を通して、食事や料理に関する表現に慣れ親しみながら、JTEや友達と積極的にコミュニケーションを図る際に必要な能力を身に付け、英語を使うよさを実感し、次の学習へ新たな意欲をもって取り組むことができる。

### (3) 子どもの実態（対象者：い組児童36名 数値は延べ人数で、結果は主のもののみ表示）

① 外国語活動への興味・関心
ア 外国語活動は楽しいか。 ＜はい(36)＞・ゲーム活動が楽しい。(21) ・英語を覚えるのが楽しい、学べる。(18)・知らないことが分かる。(3)
イ どんな活動が好きか。 ・ゲーム活動(35)・クイズ(18)・ALTの外国の話(12)・スキットづくり(11) ・リズムチャンツ(8)・歌(6)・読み聞かせ(6)・発表(3)
② 食べ物に関する知識・理解
ア 朝、食べる物・飲み物等を英語で何というか。(子どもたちはカタカナ表記) ・牛乳→milk(27)・パン→pan, bakery(14)・魚→fish(11) ・サラダ→salad(8)・目玉焼き→egg(4)
イ オリジナル料理をイラストで表示(説明も加える。) ・栄養バランスやおいしさ等を考え表示(24) ・おいしさのみ説明(9)・絵のみ表示(3)
③ 英語が分からないときの対応(方略的能力) (※「つけもの」という英語が分からない。) ・絵に表す。(31)・ジェスチャーをする。(25)・本物を見せる。(10) ・知っている英語を使う。(6)・日本語を使う。(1)
④ 話すときに気を付けること(社会言語的能力) ・大きな声で話す。(33)・場面を考えて話す。(23)・年齢を考えて話す。(8) ・性別を考えて話す。(6)・目を見て話す。(3)
⑤ 文字への興味・関心
○ 英語を読んだり、書いたりしてみたいか。 ＜はい(31)＞・外国で役に立つから。(13)・楽しいし学べるから。(9) ・かっこいい、うれしい。(4)・興味がある。(3) ＜いいえ(5)＞・難しそうだから。(4)・分りにくい。(1)
⑥ 「英語ノート」への興味・関心
○ 「英語ノート」を使った感想 ・いろいろなことが学べるし、覚えられる。(20)・家で勉強できる。(7) ・学ぶ内容が分かる。(5)・整理されている。(3)

本学級の子どもたちは、外国語活動に楽しく取り組んでいることが分かる。ゲーム活動やクイズ等を通して、英語に慣れ親しみながらJTEや友達とコミュニケーションを図る楽しさや喜びを味わってきているからだと考える。(①)

朝、食べる物・飲み物等に関しては、生活上の経験等から知っている種類が豊富であった。しかし、それらを英語で言い表すときに「牛乳→milk」のように正しく対応できる一方で、「パン→bakery」等と誤っていたり、「サラダ→salad」と表現できても、発音させると日本語のようなリズムで発音していたりする場合等があった。そこで、ゲーム活動やリズムチャンツを取り入れながら、食べ物に関する表現に楽しく慣れ親しませる必要がある。その際、日本と外国の食べ物の違いや表現の違いがあることも気付かせていく。また、子どもたちは、料理を考えると単に好みだけでなく、栄養のことも考えていることがうかがえる。しかし、おいしさのみ追求する子どもがいることから、栄養や身体のこと等を考え、家庭科や給食等とのつながりも意識させていきたい。(②)

子どもたちは、英語が分からないときは自分なりの方法で友達に尋ねようしたり、相手のことを考えて話そうとしたりしている。そこで、より積極的にコミュニケーションを継続させることができるように、周りの人に質問する場面を設定したり、相手のことを考える場面を設定したりしていくことが必要である。(③、④)

文字の読み書きに関しては、多くの子どもが興味をもっている。しかし一方で、難しいと考

えている子どももいることから、「ミルク」「サラダ」等、日頃慣れ親しんでいる外来語を取り扱い、絵と文字を組み合わせて提示し、英語を発話することへの意欲を喚起させていきたい。(⑤)

「英語ノート」に関しては、多くのことが学べ、家で勉強できる等の理由から、興味をもって行うことがうかがえる。授業の中で効果的に取り入れ、活動への意欲を喚起させたい。(⑥)

### (4) 指導上の留意点

ア 「食事に関するゲームをして遊ぶ」の活動では、食べ物や食事に必要な表現への興味・関心を高めさせるために、友達や外国の朝食と自分の朝食との共通点や相違点に気付かせたり、**食べ物を表す英語や食事・料理に必要な表現を用いたスキット**やゲーム活動等に取り組ませて、友達と協力して取り組むオリジナル・ランチ・セット作りへとつなげていく。

イ 「オリジナル・ランチ・セットを作ろう」の活動では、目的や相手のことを考えた表現を使いながら友達とランチ・セットを作る。その際、**分からない英語の表現はJTEや友達にジェスチャーや絵、日本語等を用いて尋ね、自分なりの方法で獲得させながら、積極的にコミュニケーションを図らせる**。さらに、作ったランチ・セットを発表させ、友達のよさや自分の成長に気付かせながら、活動への取り組みを称賛し、次の単元への意欲を喚起させる。

ウ 活動全体を通して、ネイティブな音声に慣れ親しませたり、ALTとのスキットを見せたりするために、「英語ノート」のCDや視聴覚教材等を活用する。

### 3 目 標

- (1) 「英語を使って友達と遊びたい。」という願いのもと、JTEや友達と協力しながら、積極的にゲーム活動やオリジナル・ランチ・セット作りに取り組むことができるようにする。
- (2) 日本と外国の料理の違いを知り、文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (3) 食べ物を表す英語や食事・料理に必要な表現を知り、慣れ親しむことができるようにする。
- (4) 料理をする場面において、目的や相手のことを考えた表現を使ったり、分からない表現をジェスチャーや絵、日本語等を用いてJTEや友達に尋ねたりしながら、コミュニケーションを継続することができるようにする。

### 4 指導計画 (全4時間)

楽しさの深まり	時間	過程	学習課題と学習活動	教師の具体的な働きかけ
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食べ物や食事に関する表現や文化を知る楽しさ</li> <li>○ 食べ物や食事に関する表現を発話する楽しさ</li> <li>○ 食べ物や食事に関する表現を使ったゲームをする楽しさ</li> <li>○ 目的や相手のことを考えた表現を使う楽しさ</li> <li>○ 分からない表現を自分なりの方法で尋ねていく楽しさ</li> <li>○ 新しい表現を知り、会話を広げ、友達とのかかわりを深める楽しさ</li> <li>○ 学習を振り返る楽しさ</li> </ul>	1	意欲をもつ	<p><b>Let's play Food Games I .</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせを聞く。</li> <li>・絵本の内容と言語材料について話し合う。(めあての確認)</li> <li>・食べ物や食事に関する表現を知り、発話する。(プラクティス)</li> <li>・リズムチャンツをする。</li> <li>・自分と友達・世界の朝食を比べる。(英語ノート p.56)</li> <li>・キー・ワード・ゲームをする。(英語ノート p.57)</li> </ul> <p>What do you eat for breakfast? I eat, rice, fruit, sandwich, tea, bread...</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食事をする場面を具体的に想像させるために、教室に食事の拡大絵を提示したり、食べ物の模型並べたりする。</li> <li>○ <b>食べ物や食事の興味・関心を高めさせるために、食事に関する絵本の読み聞かせを取り入れる。</b></li> <li>○ 言語や文化に対する理解を深めさせるために、自分の朝食と友達や世界の朝食とを比べさせる。</li> <li>○ 食べ物を表す英語や食事・料理に必要な表現に楽しく慣れ親しませるために、体を動かすゲーム活動を取り入れる。</li> <li>○ <b>目的や相手を意識した表現を考えさせるために、JTEがALTを不機嫌にさせてしまうスキットを見せる。</b></li> <li>○ <b>分からない表現を友達に尋ねさせるために、JTEは具体的な手立てを示すようにする。</b></li> <li>例① ジェスチャーで示す。</li> <li>例② 絵に描いて示す。</li> <li>例③ 日本語で尋ねる。</li> <li>○ コミュニケーションの大切さに気付かせるために、友達の意見を尊重し合っているグループや、丁寧な言い方で尋ねたり、伝えたりしているグループを取り上げ紹介する。</li> <li>○ <b>英語を発話できたことの成就感を味わわせるために、発表して学習を振り返る場を設定し、各自の工夫した点や感想を称賛する。</b></li> </ul>
	2 (本時)	つかむ	<p><b>Let's play Food Games II .</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせを聞く。</li> <li>・絵本の内容と言語材料について話し合う。(めあての確認)</li> <li>・食べ物や食事に関する表現を発話する。(プラクティス)</li> <li>・リズムチャンツをする。(英語ノート p.58)</li> <li>・フリーズゲームをする。</li> <li>・目的や相手のことを考えるスキットを見る。[社会言語的能力]</li> <li>・「スペシャル・ランチ」を作る。(英語ノート p.59)</li> <li>・発表する。</li> </ul> <p>What do you eat for breakfast? I'd like rice, fruit, sandwich, tea...</p>	
	3	挑戦する・広げる	<p><b>Let's enjoy "Show and Tell."</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習やこれからの活動について話し合う。(めあての確認)</li> <li>・食べ物や食事に関する表現を発話する。(プラクティス)</li> <li>・リズムチャンツをする。</li> <li>・ピンゴ・ゲームをする。(英語ノート p.58)</li> <li>・分からない表現を尋ねるスキットを見る。[方略的能力]</li> <li>・オリジナル・ランチ・セットを考え、作成する。(英語ノート p.60)</li> </ul> <p><b>Let's enjoy "show and tell" .</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習について話し合う。</li> <li>・食べ物や食事に関する表現を発話する。(プラクティス)</li> <li>・リズムチャンツをする。</li> <li>・オリジナルメニュー作りの続きをする。</li> <li>・「ショー・アンド・テル」の仕方を知る。</li> <li>・「ショー・アンド・テル」をする。</li> <li>・気に入ったメニューを発表する。(英語ノート p.61)</li> <li>・これまでの学習の振り返りをする。</li> </ul>	
	4	振り返る	<p>「ショー・アンド・テル」の例 J:What's your original lunch set? C:Hot dog, salad and juice. J:Why? C:野菜は体の調子を整えるからです。</p>	

## 5 本 時 ( 2 / 4 )

### (1) 目 標

- ア 食べ物を表す英語や料理に必要な表現を知り、それらに慣れ親しむ活動を通して、JTEや友達と協力しながら積極的にゲーム活動を楽しむことができるようにする。
- イ 料理をする場面において、相手のことを考えた表現を使いながら、JTEや友達とコミュニケーションを継続することができるようにする。

### (2) 本時の展開に当たって

- 食べ物に対する興味・関心を高めさせるために、イモ虫が様々な食べ物を食べ、大きくなり美しい蝶になるという話の絵本『A Beautiful Butterfly』の読み聞かせをCDで行う。また、JTEや友達とよりよいコミュニケーションを図るために大切な表現の仕方があることに気付かせるために、ALTとJTEが相手のことを考えさせるスキットを取り入れるようにする。

### (3) 実 際

過程	主 な 学 習 活 動	予想される語彙や表現	時間	教師の具体的な働きかけ
意欲をもつ つかむ	1 Greeting (全体) 2 『A Beautiful Butterfly』のCDを聞く。 3 本時の学習場面や必要な英語や表現について話し合う。(めあての確認) <b>Let's play Food Games.</b>	<b>【基本的な表現】</b> What would you like? I'd like milk. rice, fruit, sandwich, tea, bread, sausage, fried egg, miso soup,	8	○ 食事をする場面を具体的に想像させるために、視聴覚機器で絵を見せたり、CDで効果音を取り入れたりする。 ○ 本時の学習のめあてを意識させるために学習場面や必要な英語について話し合わせる。 ○ 食べ物を表す英語に慣れ親しませるために、 <b>英語ノートのCDを活用し、ネイティブな発音に気付かせたり、</b> 繰り返し英語を発話するゲーム活動を取り入れたりする。 ○ <b>相手のことを考えたコミュニケーションの大切さに気付かせるために、JTEの態度によってALTが不機嫌になってしまうスキットを見せ、その理由を問いかける。</b> <b>ALTが怒った理由</b> 例① お礼を言わなかったから。 例② 感情がこもっていなかったから。 例③ 早口や小声だったから。
	4 食べ物に関する英語の発話に挑戦する。 5 リズムチャンツを行う。 6 フリーズゲームに挑戦する。 7 相手のことを考えるスキットを見る。	<b>【Freeze game】</b> (1) JTEが食事の表現を発話する。 (2) 子どもたちはJTEの表現をまねしながら歩く。 (3) JTEが「Freeze! 」と言ったら静止する。 (4) 一回動いたら「strike」、三回動いたら「out」となる。	10	
挑戦する・広げる	 <b>なぜスネラー先生はおこったのだろうか。</b> <small>怒った表情</small>	J: Cards please. A: Here you are. J: (ALT が不機嫌になる行動をする。)	22	○ 友達とのかかわりを通してコミュニケーションの大切さに気付かせるために、ペアでランチ・メニューを作る活動を取り入れる。 ○ <b>ランチ・メニューを作る際には、丁寧な表現を用いて話すことをできるだけ意識させるために、言葉だけでなく、言い方や動作にも気を配るように声かけをする。</b> ○ コミュニケーションを図るよさを味わわせるために、相手のことを考えた表現を使っていたり、互いの意見を尊重し合っていたりするグループを取り上げ称賛する。 ○ 学習への成就感や満足感を味わわせるために、言えるようになった英語や楽しくできた活動をもとに称賛する。
	「Thank you.」等のお礼を言わなかったから。 お礼を言ったが感情がこもってなかったから。 声が小さかったり、早口だったりしたから。	<b>【子どもたちの発表例】</b> C1: Hello. C2: Hello. What would you like? C1: I'd like tea and ~. C2: OK, tea and ~. Here you are. C1: Thank you. C2: You're welcome.	5	
振り返る	8 ペアでスペシャル・ランチ作りをする。 			
	9 Presentation (発表) 			
	10 Reflection (学習の振り返り) ○ 感想交流	「Thank you.」を言う と気持ちいいです。		
	11 Ending			